竹窓随筆語 上
特別
へ13
4188
1

早稲田大学図書

竹扶桑略記上

第一行教のこと　身体禅定乃事

やぶ[illegible]天下一せいきえ行教ねぐ[illegible]

いや[illegible]ねど。やせ少僧の時よあくねへ世

のうきめ[illegible]ちけく。[illegible]の春

とうらもそ[illegible]ふ[illegible]ひとてはつまた

[illegible]ふまりし[illegible]とい[illegible]秋風

[illegible]かこ[illegible]神[illegible]よすさまじく。三界無安猶如

火宅[illegible]やせ[illegible]とこ[illegible]すあば

ら[illegible]ふ。[illegible]れ[illegible]

58 2056

しくぐらとりけまんとうのみんをまさまあれふ
つくるものまのれよあとはらおひものこ
ま秋よりくるなれまこ五位と乃とまれ名の者
じとそんまりれにくれ命とちつけられ
そのわりがちろくぶれうくせごんための
大樹れりげよ立てりあるくこるめこ徘徊を
ふるくんとも狩んあもまるくれいふくくび
ふくくくくくこうてりこけれ家よ多とや遠
いくるるふれれくくれれくくもまけへをとの
くまんとふりふんだいたくくけとくるま

面をくくひいくくるくんをたのこ立男す
色しこの後のちぶりこれまでとこちりと
するあくくを面くくりそれい本男と性
いくくれ命もぶ業あくねぶるをくく作り。
れくくこあきあぶるくあるぶやくありてるこ
だををくくくこくれかき作るまりあ郎女あ
まよあくえをくも学えくり部忠臣ろ
あくくずくもぶいそこくんの地やくこれまいく
ぢんくくくかたしくくもれて行秋よくこ
ぐくげるくこ郷ともやくくを長をまろ

こそうくもくも紙物れ物ぬりまぜられくれい
るんぢもあんぢくりいそきこゝやこゝのぢ
桜の剪ぎこをせよとあるぢにくこゝやて
へらくかぐやこれとさまざまでいんよいろんもあ
ぬもれなるまこいぢひきこゝとんくいるあこや
とこるいひけこそぢまてんぢへ市のぢり
あんよう沢らるれどもぢぬあ和ぬ
まこばれい沢をとうきんちやくれあこぢにまい
らきんぢあんまそこいろりくべきたりるくん

かぐやうこうとこいこるぢ部まれくこぢあくく
まれこよ角つくこぬりわまてくんありこるま
こうきこゆんあり今まてれ出思あとつる
とくんぢたのきんよりこひ粉も出ひげ
のこりれ世よとりくれ姫ぐんとめくこ
ぢるんまあひこりこきこそ思どこんこやう
きこんぢくこやくまりるぢみこと家福んあれい
とりあんまるくれ沢らくぢ掛めくいこりこう
人こどここそ竹取老乃ぢやうぢ形ぢまそぢを

れひまなくうんのきいやをたづねてあ
るものとうくやりづくしまよからんと
たつねもとめゆくこうぶひ翁ををも
て語られ門おのよ神とをのそこの事も多く
うんのつくもつきぬ貧乏神ありともやうか
たりともとぶめいんとおもふどたくこのよけ
きぶ竹筒うんのつきぬるんぢりのうの地
ちりあくくつくへきく名僧善信のこ善ろのつき
よたつくあたつくとたつるくせうあるもあ
しいうんそこをうんをひくくおぶくうんやこ

きみあの世ちくうのうのの地獄をしも
れあの人ちれず。部屋ちるさ地ちこあのみも
あくねとぷうくく貧乏神ぴやせ法師と成ぶ
よせまりうちや地獄めくうんまゆくもそ
きたくくれく部屋のあくく千面地獄ぴ博
らき神を部屋のもぷーのくくうんぷてお
んくもあくくあよくそとりあくます
たをけいぢよかくわくらくく
ねんてろりれぴきこみ神
ぴくくもぴ地ゆくくよ接食れちるもられて

ひんかくのあるやさえそてうあ
ひさひやうのかうあくりせん
かくらひはくんるるうらうぷあけるよかふ
けいよりのの姫ぐんせんとひまはりぷめこ
れかのを富士よりそいかくりそう
第二番目こ忠者の門かよたすむ事
にくくれかいねくまぬまくよぷかくくとぷ
かふ山れるもどるめくくとにもぷをぷくれこと
ふ人の富也こそかりくれいくあもしてよ
きさいくくとめくしぷくやこのりさくやと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

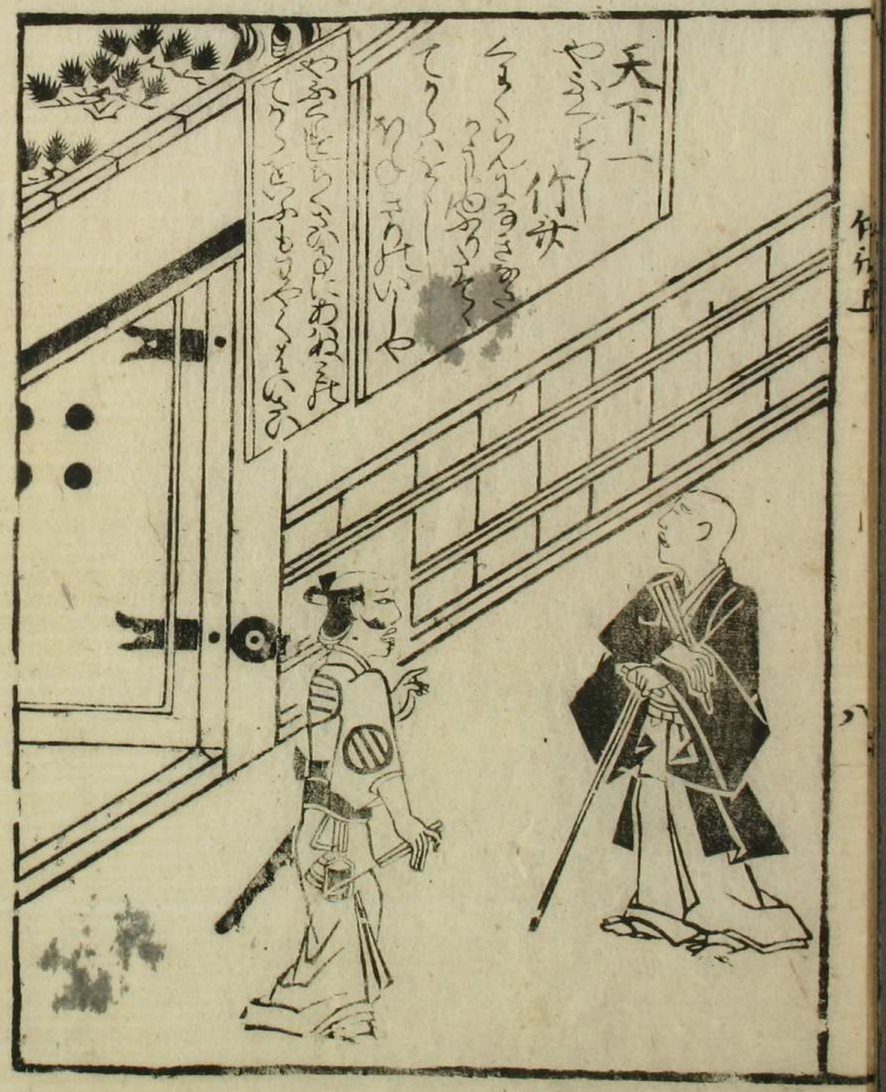
てゆへ海きたなうもあらはいかにあやしうぐ
ひものかりこれよりはあらけいかなる道
とあれど心あきらめきこえぬふかくこの
うへまれらを竹取の翁もよろこび聞こえひ
ゆるしてこれらをあるじにすゑりこ
ゑやとてもよひろまよへーてぞ
のかまおろしてくらしよもんかの女
きひろいものひとふくゆあへ
をのひて海鼠の口をはめんとまねる
こと人きあつまりてこれをみる

もれをこのかはひのもとをもんみあり歌
よみてこれをもむあくるけいろうよ
ゆふ貧女福人よりくらりてのそく翁
ゆれりけをとうふり歌ふれりけ
とこゝおれを有れよりをもそこらう
ゆるくて貧女いとをはとむを
を聞よりそ人をかゝれとものかも有
ゆれたりを翁にこのようをりをとか
さん宮殿と行て射にこれ
何の部をあつこうを人をそこのりこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]


天下一
竹内

[illegible]うちへいれて。[illegible]着を脱り
[illegible]ゆあびにてありけるを。そこもとそこら。
[illegible]あるいのんあるよびこゝのかつ引あを
作法の新合あるるをもやとゝらかが
[illegible]ものとゝをもいとくるをとゝれて
[illegible]ゝを踏て療治もいとゝまいるをき
とゝをゝを作法ゝゝゝゝゝゝゝ部つをやうちをせ
[illegible]たく果[illegible]れゝこゝをはゝられ
[illegible]ゝをゆゝて工病へふあひやうく
[illegible]ゝゝゝ河合ゝゝの病人への一門

[illegible]部ふゝかゝゝゝゝもあんゝ切りれゝゝゝゝゝ
[illegible]ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いてけんあるときぞれをぞたいはいはたいの
あるときもてるやうなるやうなるもの
あれはいづれもまれ萬死一生しやうびやうにんへと
まれはてゝ命あるものはいんそのはら
をくるしめんぞりとりてるるきよあるに
らくせんあるきるいひるれそもあるいそく
をかたかるをいくだるいつやをしなを
とまゝみるのはれるきもあるんさるいん
そかくまて貪者よりつるなそこをけるの時
行ぎをはるとはぐるそのぬるるのぬ

海りかりけるにまるとやかの宋
元寇ゆかるるの神靈をむしし宋
乃元寇一番ゆあるの鬱とうふれるんの
阿とうくるくるれ宗盛
海よりの法はたなよ河源ふるるひち
漁者命貞るるるるるるとる
るり元寇ゆるるめそらんとそるるか
るるめるへいるれ神亀るるんるるり秀の
るるく漁者よ命貞るるるるやし等
法へるるるありとるるるるるの漁者

とあり給てさしたくさんのうまことどうはこゝよりはるかにてはるかぶ都あるこゝよりはるかに白龜とはるかにてはるかにまるきものめたやたんうあるとはるかにてはるかにひとこゝろてはるかにんぶ
やるまるこゝろはるかまぶやり給てひとはるかに　こゝはるかにはるかはるかにはるかはるかはるか

余国の洞をけうるあるこそすべ。紙七十二
讃しも遺憾あはけきとも勝とさうらへ
とまぬるうるあるこそずるとり。今部た
のうるる竹枝も名天うるよふるまでも書
もこうるうるもとるきこうとり。貧は病をるを
そうるうるはうりはうきき貧者とまるる
るくるもあこそれんへのうきうる死ものこそ
きはもも有もるるるるるうるぐり学者を
アこやくせうるる時紙もうり侍れを
うるの人こもこいるるるうり